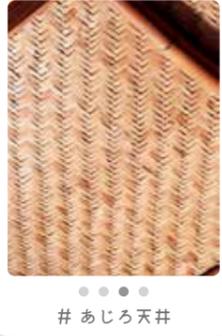


#オオイタレキシ旅 2024

大分市内にあるとおきの文化財の魅力を届けます!

— 第6弾 —
後藤家住宅



どこか懐かしい日本の古民家「後藤家住宅」野津原地区にある「後藤家住宅」は、18世紀中ごろ(江戸時代)に建てられた大分市最古の民家です。築250年を超える貴重な農家として、国の重要文化財に指定されています。茅ぶき屋根の素朴で美しい建物は、庄屋を営んでいた後藤家の母屋として使われていたもので、驚くことに今なお現役で使われています。室内は、かまどを持つ大きな土間から板間・いろいろのある広間、座敷へと続き、座敷のあじろ天井や、広間の部戸(戸の上半分を内側に引き上げる建具)など、この地方の古い形式がそのまま残されています。長い歴史を重ねた建物や道具たち。後藤家住宅は、日本の原風景である農村文化や暮らしを深く感じることができる、どこかほっとする重要文化財です。

Point

夏涼しく冬暖かい茅ぶき屋根は、四季のある日本の風土にとっても適したものです。ぶき替えは、かつて集落の共同作業で、後藤家住宅では約300駄*が必要であったと言われていました。
*1駄…牛1頭に茅6束積む単位

Access

所在地：荷尾杵1161
大分駅から車で約60分

Next Journey!

今回は
早吸日女神社
です。

問 文化財課 ☎578-7546

市報9月号 #オオイタレキシ旅掲載
(第5弾高崎山のサル生息地)

「高崎山は海に突き出た急な岩壁から四極山とも呼ばれ」部分の補足

高崎山の名は、海に突き出るようにそびえ立つ姿から付いたものです。別名「四極山」とも呼ばれていましたが、由来は定かではありません。

編集担当より

表紙の市役所別館には、県内すべての119番通報を受信する、おおいた消防指令センターが入っており、10月から本運用となります

また、10月からは「#7119」が始まります
急な体調不良やけがで「すぐに病院に行ったほうがよいか」「救急車を呼ぶべきか」悩んだときは「#7119」にご相談ください

Q 市報クイズ

○に入る言葉は何かな?

大分市と武漢市は今年で友好都市締結何周年でしょう?

「○○周年」

ヒントは、この市報の中にあります。

スマホはがきで応募!

正解者の中から抽選で、工場夜景クルーズペア乗船券(11月9日(土)乗船分)を3人にプレゼント!
※当選者の発表は、当選通知をもって代えさせていただきます。



応募方法
スマホ 右の二次元コードから応募してください。
はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、10月15日(火)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷場町2-31 ☎537-5713)へ。

9月号「市報クイズ」の答え
男女共同参画センター(たびねす)公式キャラクターの名前は?
「た()び()よ()ん()」

市民図書館からのお知らせ

「秋の読書週間」イベント 無料

- マイセレクション(ラッピング展示)
募集期間：10月1日(火)～31日(休)
展示期間：11月1日(金)～30日(土)
- 図書館からの挑戦状(クイズ)
10月25日(金)～11月7日(木)
- 一般書のリサイクルフェア(無償配布)
10月26日(土)・27日(日)
※10月11日(金) 午前9時30分から日時指定整理券配布
- おはなしの世界へようこそ
読み聞かせ：11月2日(土) 午後2時～3時
おはなし会：11月3日(日) 午前11時～正午
- 図書館ホームページ活用講座
11月4日(月) 午後2時～4時
- THE座談(源氏物語と平安文学を語る場)
11月13日(水) 午前10時～正午



であえたことにありがとう
きむらゆういち…文
tono…絵
世界文化社
かわいらしく優しさにあふれた猫の絵本です。親の、「生まれて来てくれてありがとう」という想いや子どもに寄り添い成長を見守る愛が、温かい言葉で表現されています。子どもだけでなく、大切な人と一緒に読んでほしい一冊です。

日本の郷土料理帖
47都道府県の伝えたい味
大瀬由生子…著
河出書房新社
全国の郷土料理を集めたレシピ集です。それぞれの風土に密着した身近な食材を使い、料理しやすいように現代風にアレンジされたものばかりです。料理の成り立ちについての情報もあり、昔の人の工夫や知恵を知ることもできます。



詳しくは、市民図書館ホームページをご覧ください。市民図書館(☎576-8241)へ。

人権・同和教育シリーズ 550

人の生き方を考える 娘の姿から…



先日、県外で働いている一人娘が帰省してきたときのことで、ドライブをしていると、娘が「お父さんも知っている今付き合っている彼とそろそろ結婚しようと思うんだ」と話してきました。わたしが「そうなんだ。おめでとう」と応えると、娘は「いいの?前にも話したけど、彼は県外の人で、しかも長男なのよ。それに、彼の両親が近くに住んでほしいと言っているから、彼の実家の近くに住もうと思ってるんだ。そうすると、お父さんのそばにいられなくなるし、すぐには帰ってこれなくなるけどいいのかな」と言うのです。わたしは娘の状況を理解しつつ、不安そうに娘に「相手の人のことが好きで一緒にいたいんだら。どうしてそんなことを聞くの?」と尋ねると、娘は「この家が、どうなるのかなと思っておじいちゃんからも『いつか帰ってくるよな。一人娘なんだし家を頼むよ』と言われてたから、なんだか気になって…お父さんも同じ考えだどずっと思ってた」と言うのです。

先日、県外で働いている一人娘が帰省してきたときのことで、ドライブをしていると、娘が「お父さんも知っている今付き合っている彼とそろそろ結婚しようと思うんだ」と話してきました。わたしが「そうなんだ。おめでとう」と応えると、娘は「いいの?前にも話したけど、彼は県外の人で、しかも長男なのよ。それに、彼の両親が近くに住んでほしいと言っているから、彼の実家の近くに住もうと思ってるんだ。そうすると、お父さんのそばにいられなくなるし、すぐには帰ってこれなくなるけどいいのかな」と言うのです。わたしは娘の状況を理解しつつ、不安そうに娘に「相手の人のことが好きで一緒にいたいんだら。どうしてそんなことを聞くの?」と尋ねると、娘は「この家が、どうなるのかなと思っておじいちゃんからも『いつか帰ってくるよな。一人娘なんだし家を頼むよ』と言われてたから、なんだか気になって…お父さんも同じ考えだどずっと思ってた」と言うのです。

わたしは、娘には自分のやりたいことをやってほしいと考え、娘の意思を尊重してきたつもりだった。で、娘がそんな思いを抱えていたことに驚きました。そして、今までの関わり方が無意識のうちにそう思わせていたのだと気付いたのです。
わたしは「そんなことを考えていたんだな。心配させてごめん。お父さんは長男だ。実は若い頃、家を継がなければという気持ちから転勤を諦めたことがあるんだ。後悔しているわけではないけど、自分の子どもには一人娘とか長男とか、家を継ぐとかに縛られず、自分が幸せになる道を歩んでほしいと思ってるんだ。あなたの幸せを願っているのは、おじいちゃんも一緒だよ」と言う。娘は目を潤ませながらうなずきました。帰宅後は、祖父も交えいろいろな話がありました。
娘が帰る日、駅のホームで「今度、彼も連れて来いよ」と伝えると、笑顔で手を振る娘の姿がありました。

わたしたちには、固定的な考えが染み付いていることがあります。それが、時に相手の生き方を縛ってしまふことがあります。まずは、自分自身の意識を見つめ直すことが大切ではないでしょうか。